

長善寺 春の永代経法要のご案内

この写真は、昨年フジバカマを植えたいたら、アサギマダラが来て花に止まろうとしているところを撮ったものです。このチョウは飛翔力が強く、長い距離を旅する蝶としても有名です。今年もフジバカマが咲き、アサギマダラがやってきてくれることを願っています。

今年も永代経を迎えます。彼岸会と重ねて行われます。彼岸会はお彼岸の日に太陽が真西を向くことから、西方浄土を求める法要として始まったものです。真宗では永代経といい、往かれた方たちを偲び、自らの生き方を振り返る法要として大切に行っております。今年は今まで通りに午前と午後の法要として準備しています。

私たちはこの三年間新型コロナウイルスに振り回されました。私など楽な方へ楽な方へとつい流され、コロナにことよせて安易な道を選んできました。やはり大切な永代経を続けながら、さらに工夫精進したいと思っています。ご一緒に永代経のお勤めができれば幸いです。

思い起こせば今までいろいろなことがありました。多くの方たちと出遇い別れてきました。人や出来事との出遇いが私の人生だったと感じられます。そしてこの出遇いは私だけのものです。大切な方との出遇いは何物にも代えられない宝物であったと思います。

さだまさしさんの「いのちの理由」私が生まれてきたわ

けは、と歌いながら涙しています。



畑のフジバカマにやって来たアサギマダラ

※ 拙寺永代経を左記の如く行います。
亡き方の法名を長善寺にあります法名軸に記載し、長善寺が続く限り読経させていたいただくのが永代経法要であります。

一、日時 令和五年 四月 二十二日 (土)

日中 十時 粗食ながら昼食を準備しています。

速夜 一時

一、お勤め 自坊にて、

正信偈念仏・和讃・法話 (A I と仏法)

阿弥陀経・和讃・法話 (高鷲の昔話と私たちのくらし)